

学生の経営能力向上を図る取組

農業総合センター農業大学校

農業大学校では、農業関係者から協力を頂いて、学生に農業経営能力向上を図るための幅広い知識や考え方を習得する機会を提供しています。28年度は、増加傾向にある女子入学生の就農意欲を喚起するため、第一線で活躍する女性農業者による特別講義や、農業経営士による卒業研究指導のご協力を頂きました。また、農業法人協会とのインターンシップ協定締結によって、今後の学生の学びの場がさらに拡大することとなりました。

女性農業者による特別講義

「女性農業者の魅力を学ぶ！」をテーマに、農業部では平成28年10月25日、篠崎八重子氏、関沙雪氏、菅野久美子氏、農業経営士の石島和美氏を、園芸部では平成29年3月17日、横田祥氏、染野由香氏を招き、講演会と座談会を実施しました（写真1）。学生は、農業における女性の強みや、女性が就農するにあたっての不安や疑問をどのように解決していったかを学びました。



写真1 篠崎八重子氏による講演



写真2 学生にイチゴの育苗管理を指導する
浜野農業経営士（右端）

農業経営士による卒業研究指導

イチゴ栽培をテーマに、研究科では平成28年9月7日と9月15日に浜野博士氏を、園芸学科では平成28年12月16日と平成29年1月31日に文隨靖氏を招き、卒業研究指導を受けました（写真2）。

イチゴを学んでいる学生は後継者が多く、両経営士より、プロの育苗・栽培管理、土づくり、経営管理技術とともに、イチゴづくりの楽しさや面白さ、経営者としての心構えを学びました。

農業法人でのインターンシップ

「農業法人における農業インターンシップの実施に関する基本協定」を、平成28年7月21日、茨城県農業法人協会（会長：坂入利一氏）と締結しました。

この協定は、農業大学校の学生が県内の農業法人でインターンシップを行う際、法人協会から各法人の情報を提供してもらい、学生の希望する品目や経営を行っている法人で実習ができるようにするものです。平成28年度は、夏季休業や学期末休業を活用し、1年生4名と2年生1名がインターンシップを体験しました。



写真3 学生と法人のマッチング